



地元スーパーは生き生き就労の場 ～働く喜び、役立つ喜び～

神奈川県・しんわろネッサンス
(就労継続支援B型事務所 施設長)

庭野 勉

はじめに

porepore

南に湘南の海、北に丹沢大山と自然に囲まれ、毎年7月には七夕まつりが盛大に開催される神奈川県平塚市に社会福祉法人進和学園があります。設立は昭和33年6月、30名の知的障がい児施設から始まりました。現在では生活介護事業所1ヵ所、障害者支援施設3ヵ所、就労支援事業所2ヵ所、グループホーム(共同生活住居、14ヵ所)、放課後等デイサービス、相談支援など、約500名の方々が日々利用されています。他に保育所2ヵ所、ともしびショップ(自主製品の販売・喫茶)など、「ご本人中心」の理念のもと運営しています。



自然に囲まれたしんわろネッサンス全景

就労支援は、昭和49年に授産施設進和職業センターを設立し、本田技研工業株式会社から自動車部品組立の仕事、進和学園の営業窓口会社である株式会社研進を通じて受注したことから始まりました。研進は、昭和49年本田技研工業との橋渡しとして設立された会社です。その後、さらなる仕事確保のため平成18年に授産事業の中核施設として、福祉工場しんわろネッサンスを設立し、現在就労継続支援A型20名、就労継続支援B型80名、就労移行支援20名の多機能型で展開しております。

研進は平成20年、神奈川県初の在宅就業支援団体^{※1}となり、進和学園も平成22年度より同団体として、厚生労働省へ登録されています。それぞれの専門性を活かした「分業」と「協業」のスタイルが私たちの大きな特徴となっています。また、進和学園は自主生産として、原木しいたけ栽培、農園芸、陶芸、製パン・焼き菓子、クリーニング、手工芸、給食、清掃、各種請負作業等に取り組んでいます。

況だったようです。そんな時に、研進・進和学園へ相談がありました。進和学園は施設外就労の実績があり、制度の利用について当時の青果チーフ・松永泰幸さんと店長の大友康弘さんに提案したところ、日頃の関係から進和学園の利用者に大きな可能性を感じていたものの、実際の業務となると、どの程度仕事を頼めるのか? 仕事量はどれくらいこなせるのか? などの疑問点があり、まずは店舗において週1日トライアル(無償)を行うことになりました。しんわろストアのバックヤードには豊富な仕事量があり、実際にできる仕事を仕分けし、青果の袋詰め、清掃、除草などを利用者4名、職員1名で行いました。当然、初めからきちんとできる方はいません。現場の従業員さんに教えてもらったことを、職員は利用者と一緒に働く中で繰り返し指導しました。一人ひとりの仕事の力量は低いかもしれませんが



しいたけの袋詰め



社員の方はやさしく教えてくれます

が、ユニット(利用者4~5名)で仕事をすることにより、同時にいくつもの仕事ができるメリットをアピールしました。

同年11月、この実績が認められ、正式に施設外就労の契約に至りました。施設外就労は、1ユニット障がい者3名以上に対し職員1名のユニットで仕事を行うため、福祉の現場で培ったノウハウを活かした個別の指導が徹底できることや、企業の中で障がいのある方が働くことにより、社会参加と実践的な職業訓練の場となり、「雇用」への移行を促すと共に、工賃の確保にもなるメリットがあります。また、企業サイドはユニット(チーム)制のため欠勤がなく、複数の仕事を任せられる上、業務請負により雇用管理の負担は軽減され、福祉への貢献という社会的責任(CSR)を果たすことにも繋がります。

長持店店長の友友さんからは、「パートさんに比べれば作業はゆっくりですが、まじめに一生懸命働いてくれ、見ていて気持ちがいい。従業員の模範になる」との評価をいただき、私たちにとって何よりの働きがいとなり、社会に役立っていることの実感に繋がっています。

また、同社の社長である島村孝征さんからの「人と接点が多いスーパーの仕事は楽しさがあるようで、喜んで働いてくれている。進和学園との取り組みを深化させ、さらなる連携を模索したい」という力強いお言葉は、私たちの挑戦へのエネルギーとなっています。

現在では、1店舗週1日であった仕事は3店舗週5日間となり、さらに全11店舗の環境整備の仕事も新たに請け負うようになりました。一人ひとりの力量アップはもちろんのこと、大きな声で挨拶をしながらお辞儀ができるようになるなど、社会人としてのマナー向上の面に



本田技研工業株式会社自動車部品組立作業の様子

「しまむらストア」の商品として取り扱っていただくことになりました。そこから交流は始まり、採りたて新鮮野菜のみならず、ストア内に福祉施設コーナーを設けていただく運びとなり、利用者とともに商品を納品するたびに信頼関係は深まっていきました。

ピンチはチャンス!

昭和49年以来、ホンダ車部品組立の良質な仕事は、しんわろネッサンスの利用者の方の全国平均を大きく上回る工賃を生み出し、「働く場」のみならず、実質的な雇用を創出、品質ではISO9001の認証取得へと繋がりました。しかし、平成20年のリーマンショックにより経済情勢は一変し、その後も円高やグローバルな競争の激化により自動車メーカーは相次いで海外での現地生産へシフト化し、従来の自動車部品の点数は減少、仕事量は最盛期の6割程度まで落ち込みました。そこで、仕事の確保について安定的な仕事と工賃水準を維持するために、多角化への道を歩み出しました。当初、自主生産の柱として農作業を始めました。その中で、地域のご支援で近隣農家の農作物を収穫する仕事(援農作業)を「施設外就労」の制度を活用し、請け負うことになりました。

株式会社しまむらとの出会い

進和学園として生産事業を推進し、近隣商店、直売所等へ販路拡大を目指していたところ、平成22年8月、近隣農家で私たちが収穫した農作物を研進の地道な営業活動により、株式会社しまむらの

株式会社しまむらは障害者雇用率2%を充足しており、特別支援学校卒業生の採用や地域就労支援センターからの採用も行っています。就労した方の職場定着率の高さは適性に合わせた業務内容や人間関係など、環境の良さを表わしており、この出会いを心から感謝しています。

しまむらストアとの新たな挑戦

各店舗で開催されるイベントに利用者も販売員として元気に参加し活躍するなど、良好な関係を築いている中、平成24年9月にしまむらストア長持店でパートさんの退職があり、人手不足の状態となりました。競合店の出店などで売上げも落ち込む中、人員補充は難しい状



頑張るぞ! 働しまむらの方々と決意を新たに……

porepore

porepore

においても有効な働く場の一つとなっています。

そして、平成26年1月には私たちのユニットから1名が株式会社しまむらへの就職(雇用)が決まり、より一層みなさん張り切って働いています。

また、株式会社しまむらとの連携は、障害者雇用促進法における「在宅障害者就業支援制度」を利用し、来年度スーパー業界では日本初となる特例調整金^{※2}を申請するまでに至っています。発注奨励策を使用し、企業にメリットを還元しながら福祉的就労の底上げを図る取り組みです。

働くことを支援するために

新たな取り組みとして、株式会社しまむらの社員の方を講師としてお迎えし、就労支援の勉強会も実施しています。挨拶の大切さ、感謝の気持ち、素直な心など、就労における心構えについて勉強しています。

就労支援において、「ディーセント・ワーク」(働きがいのある人間らしい仕事)のあり方として福祉的就労は本来、訓練生ではなく労働者として認められるべきとの議論も行われています。福祉的就労(就労継続支援B型)の底上げのためには、障がいの程度・特性等、ご本人のニーズに対応した多様な就労の場を創出すること、就労継続支援A型(雇用型)との格差は正など、まだまだ課題は山積されております。福祉事業所の自助努力だけでは厚生労働省の目標とする最低賃金の3分の1以上の工賃を利用者に支給できるような良質な仕事を安定的に確保することは困難です。障害者優先調達推進法、共同受注窓口組織化など、社会の仕組みの整備もようやく始まり期待されています。

私たちは40年間で培ったノウハウを基に、今後も障がいのある方が仕事を通して社会参加し、達成感、充実感を味わい、生き生きと働いていくことを探求していきたいと思っています。

平成26年度は地元JAなどと連携し、地産地消の食品加工事業を計画しています。また、地域の商工関係団体等と連携し、作業の幅も広がってきております。新たな取り組みをこれからも続けていきたいと考えています。

※1 障害者の在宅就業を支援するため、発注元の事業主と在宅就業障害者との間に立って、障害者に対しては仕事の発注や各種相談支援等を行い、事業主に対しては納期・品質に対する保証を担う役割を果たしています。

※2 自宅などにおいて就業する障害者に、仕事を直接もしくは在宅就業支援団体経由で発注する事業主に対して支給する。金額は、所定の算式で算出される。特例調整金は、常用労働者301人以上の従業員規模の企業、特例奨励金は、それ以下の企業が対象。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人 進和学園法人本部
〒254-0913 神奈川県平塚市万田 475
TEL 0463-32-5325
<http://www.shinwa-gakuen.or.jp/>

(4ページのカラーページも併せてご覧ください)

porepore